



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 2018年度 活動団体応援プログラム 活動報告書 〔PLAY park KiTa〕(秋田県北秋田市)

【団体紹介 HP】 <http://bouken-asobiba.org/play/asobiba-235.html>

1年間の活動の概要

- ・月に約1回、不定期でちらしを配布し各地で行ったほか、国、県、市管理の場所を許可を得て開催しました
- ・青森県秋田県のプレーパーク運営情報交換会を行いました
- ・活動初年度は近隣の子どもイベント事業に参加し、次年度からは県事業と市事業に協賛できることになりました
「2018年度1年間を振り返って」

スタッフ不足になやまされ、初期メンバーは私のみとなりました。子育て世代のパパママだけでは運営できないことを学びました。ボランティアの募集で独身者、団塊世代の保育士、市の児童委員の方に協力していただき、次年度の運営にあたります。

不定期の活動を毎月第二日曜日と定め、年間活動を組みました。北秋田市には県営市営の内陸線があります。(その一つの駅に映画「君の名は」の聖地があります) その駅付近での活動をすることで、利用者増や地域に貢献できるようにがんばります。

2018年1月より活動を開始し、2018年秋の開催から火の使用許可がやっとおりました。たき火は意外に高度で、BBQスタイル(炭・着火剤)から開始しました。廃材回収に木片がありますので、次年度はチャレンジしていこうと思います。

2018年12月の開催時、米や野菜の寄付をいただくルートができました。次年度も「こども食堂」とまではいきませんが、食事付きイベントの開催ができればと思ってます。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

- ・プレーワークについて勉強し、プレーリーダーを収入がある仕事にするためにどうしたらいいのかを考える。
- ・初年度2018年を踏まえ、2019年の活動計画を組んだように、2020年の3年目の継続を実行できるようにしたい。
- ・「こども商店」の活動を増やしたい。子どもからはじめるお金の勉強、ものづくりから販売までの工程を体験することで、物の大切さや、社会について学んでほしい。



▲遊び場の様子(2018年1月21日・4月29日開催)

【運営メンバーから一言！】

子育て世代真ただ中の2歳児5歳児の母ですが、同世代の悩みは共有できるんじゃないかと思います。北秋田市移住歴5年の若輩者ですが、地域に貢献しここが私の住む街です！と、胸をはっていえるようになりたいです。

(代表 畠山由美子)

【協会から応援メッセージ！】

子育て真っ最中の畠山さんがプレーパークを開催するのは本当に大変なことだと思いますが、ご本人が楽しんでいらっしゃる事が実は大切な事で、活動の継続にもつながっていくことでしょう。強力な助っ人が早く現れるといいな～

(地域運営委員〔秋田県〕 佐々木久美子)



▲最近ハマってる自然遊び

「WAROCK」



▲青森県秋田県プレーパーク運営情報

公開会の様子(2018年11月開催)

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち(協会)が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会HP】 <http://bouken-asobiba.org>